

令和6年度 伊豆の国特支伊豆松崎分校 第3回 学校運営協議会

1 日 時 令和7年2月12日（水）午前10時から正午まで

2 場 所 静岡県立伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校
（松崎高等学校会議室）

3 参加者

○学校運営協議会委員

氏 名	所属等
宇野 満里加	丸高ティーティー（株）（本日欠席）
菜野 倫克	ふじのくに防災士（本日欠席）
芹沢 安久	カネサ鯉節商店代表
津田 亜由美	伊豆松崎分校PTA会長
寺川 麻由季	株式会社下田OAシステム

○学校教職員

職 名	氏 名	所属等
校 長	松本 仁美	
教 頭	所 宗子	
部主事	高橋 康子	
教 諭	齋藤 麻実	教務主任
養護教諭	鈴木 三恵	※コンプライアンス委員会のみ

4 内 容

- (1) 校内見学・授業参観「作業学習（地域）」
- (2) 後期学校自己評価報告
 - ・今年度の取り組みについて
 - ・保護者アンケート
 - ・生徒アンケート
- (3) 学校関係者評価
- (4) 令和7年度学校経営計画（案）について
- (5) その他
 - ・進路状況報告
- (6) コンプライアンス委員会
 - ・教職員の不祥事について
 - ・不祥事根絶の取組報告

1 日時 令和7年2月12日(水) 午前10時から正午まで

2 内容

(1) 開会

校長挨拶

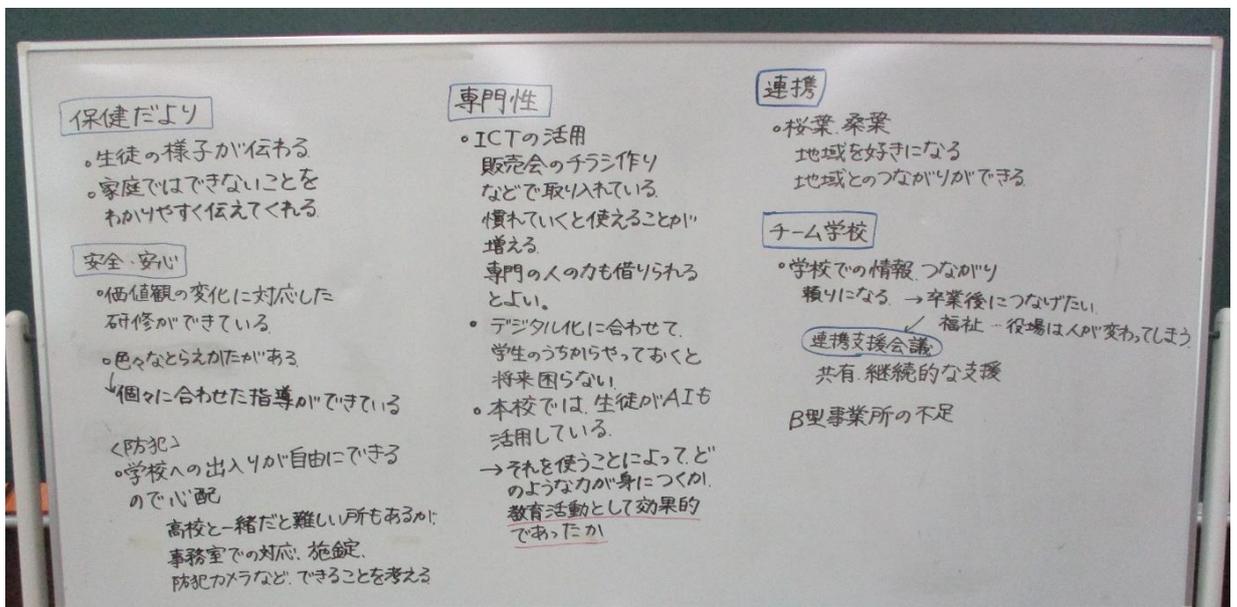
- ・土肥桜が満開で、ホテルの駐車場は車でいっぱいであった。賀茂地区の人口が減少する中で、特別支援学校の在り方を考えなければいけない。地域との共生、小・中・高等学校の在り方、伊豆松崎分校の在り方など。賀茂地区ならではの教育、地域の特色、目玉を生かす取り組みが必要。
- ・本校では、学習や業務にAIを取り入れている。世の中はものすごいスピードで変化している。教育にも変換が必要。
- ・事件や事故、道路の陥没、大雪による孤立などのニュースが流れている。いろいろなことに対応しなければいけない世の中。孤立した際はリモートを活用しての授業を行うなど準備をしておく必要がある。

(2) 後期学校自己評価

- ・教頭より、学校自己評価について説明
- ・教務主任より、保護者アンケート結果について説明
- ・部主事より、生徒アンケート結果について説明

(3) 学校関係者評価

(4) 意見、感想



(5) コンプライアンス委員会

- ・令和6年度教職員不祥事案報告
- ・不祥事根絶研修報告

【感想等】

校長：運転免許証の確認、出張前のアルコールチェックが義務付けられているが、不祥事根絶に至っていない。教員は当たり前のことを自分事として捉え行動すべき立場である。

委員：事故が起こった時に、次に起きないようにするため記録を残し全体に共有している。社員に対し、社外でのことは強制できない。任せるしかない部分もある。昭和の時代と感覚がかわっているが、勉強していかないといけない。

委員：ミスが起きたらすぐに上司に報告することを徹底している。法に関することは弁護士に相談。民間よりも公務員は特に厳しく大変ではないか。民間と違い、ストレスも多くかかっているのだと思う。

教頭：毎月継続して呼びかけることや、教職員がお互いに声を掛け合える雰囲気作り、短時間でできる研修など工夫して取り組んでいる。少人数なので、一人の行いが全体に大きく関わるイメージがもちやすい。

(6) 閉会

校長挨拶

- ・人口の減少や学校のこと、様々な課題はあるが学校の存在意義は大きい。地域の活性化につながる交流や観光資源の活用、防災など地域のみなさんと協働しながら考え、学校を元気にしていきたい。1年間ありがとうございました。